

こころざしシェアタウン

平成28年度 まちプロチーム

中井 将之 坂上 弘祐

1 | 地方移住に対する不安要素は？

■ 仕事（経済的）

— 安定した収入が得られるか

■ 住居・環境

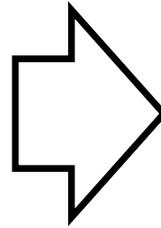
— 住居の確保（選択肢が少ない）

— 交通の便が不便

■ 交友

— 地域（近隣）との付き合い

— 同世代が少ない



◆ 一歩が踏み出せない

（決断できない）

◆ 長期的な居住に繋がらない



2 | 不安要素に対する対策

■ 仕事（経済的）

— 安定した収入が得られるか

■ 住居・環境

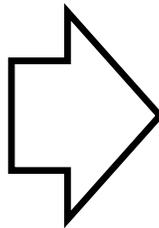
— 住居の確保（選択肢が少ない）

— 交通の便が不便

■ 交友

— 地域（近隣）との付き合い

— 同世代が少ない



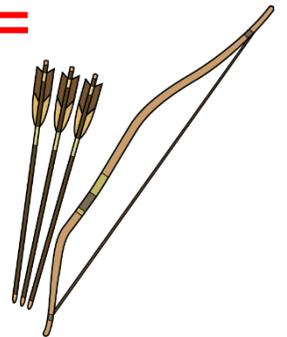
◆ 経済的支援

- 企業支援事業補助金・農林業補助事業 etc
- こども・教育・健康に関する手当、助成

◆ インフラ・交通機関

- 京奈和自動車道・鍋谷トンネル
- JR・コミュニティバス

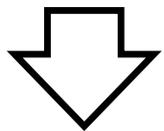
◆ ころざしシェアタウン



3 | こころざしシェアタウンの目的とねらい

■ 目的とねらい

- 住居の確保
- 仕事場（作業スペース）の確保
- 仲間（友だち）をつくりやすい環境の提供



- 住まい・仕事・孤独への不安を解消
 - ➡ 一歩を踏み出しやすく
- 町での生活に楽しさを感じる
 - ➡ 長期的な居住を促す



4 | こころざしシェアタウンの概要

■ 概要

— 地域を選定し住居に付加価値をつけて提供する。

- ① エリア（地域）及び入居者を限定
- ② 住居と仕事場（作業スペース）を併せて
- ③ 共有スペースの提供（イベント開催など）



- 入居者を限定する事で、似たもの同志が集まる。
- エリア限定・共有スペースを設ける事で、コミュニケーションを取りやすい環境を作る。

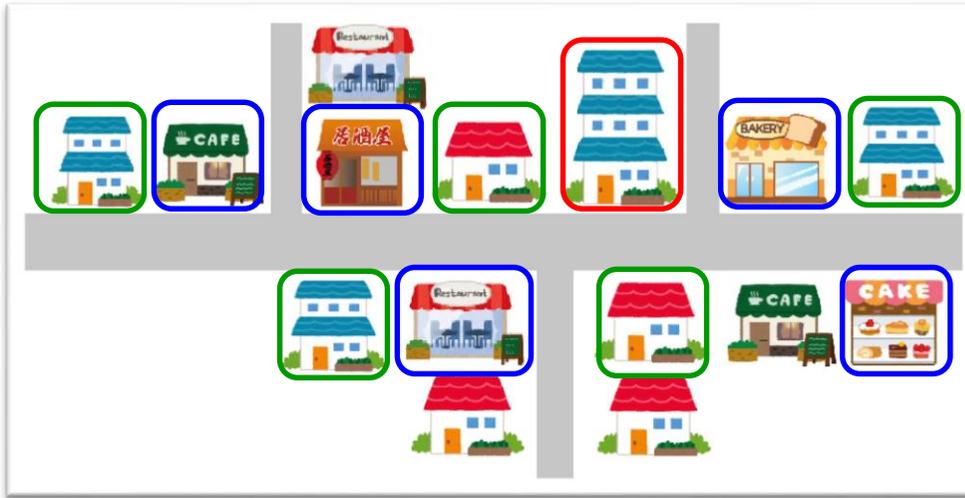
■ 方法

1. 空き家のある地区を施策エリアして選定。
 2. 住居・仕事場・共有スペース等を振り分ける。
 3. 現状に合わせて、入居者の限定条件を決定。
- (4. 入居者確定後、リフォーム等を実施。)

条件ありきで場所を決めるのではなく、場所ありきで条件を決める。

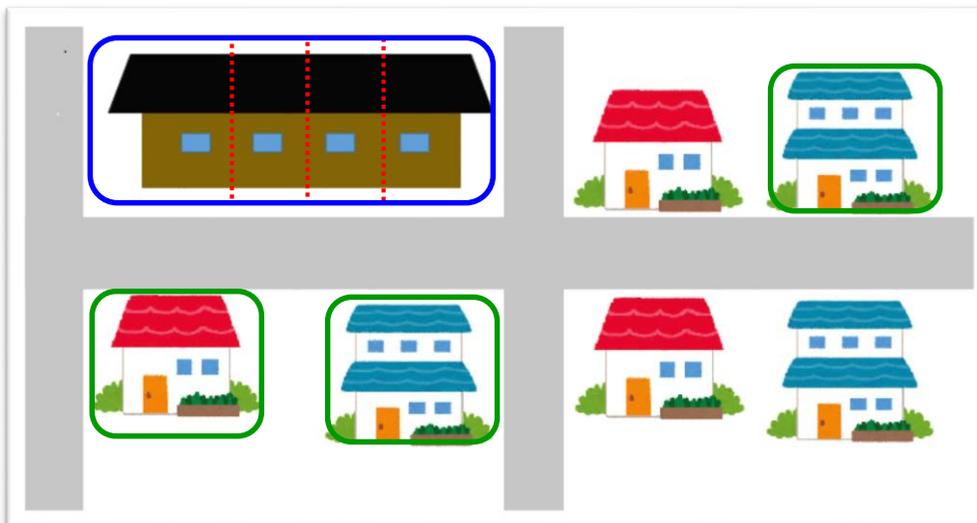
4 | こころざしシェアタウンの概要②

イメージ図①



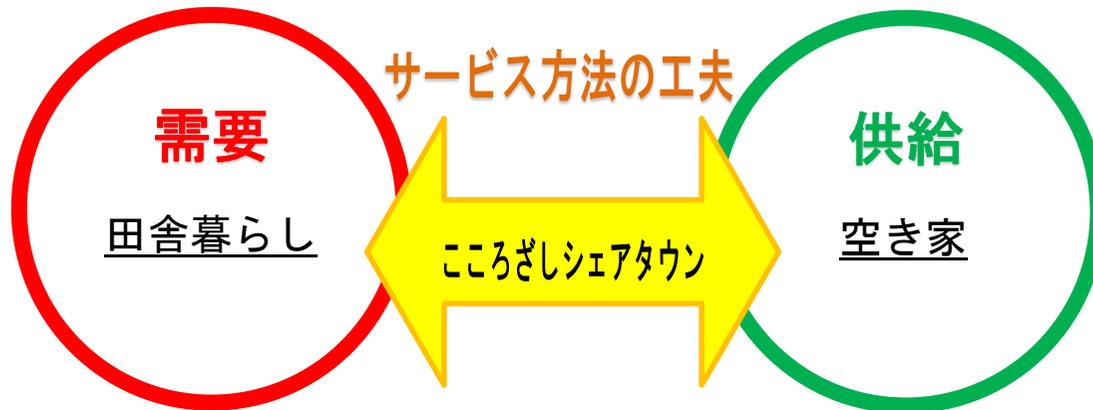
- ① 個人で店を持ちたい人
(料理人、パティシエなど)

イメージ図②



- ② 工房（作業場）があれば仕事ができる人
(作家、画家など)
- ②' 小スペース（パソコン）があれば
仕事ができる人
(デザイナー、イラストレーターなど)

5 | まとめ



- 現在あるものを可能な限り活用し、サービスの方法を工夫する事で、世の中のニーズに合ったものを提供する。

